

令和7年度 学校評価の4点セット整理票

竹田市立白丹小学校

校長（石井 康孝）（1学期計画）

| | |
|---------------|--|
| 【学校の教育目標】 | 楽しい学校 大好き 白丹～自ら学び、認め合い、ともに生きる白丹っ子の育成～ |
| 【育成を目指す資質・能力】 | 進んで学び、思いや考えを伝える力(自主) 他者と協働し、よりよく生きようとする力(協力) |

| 重点目標 | 担当 | 達成指標 | 分担 | 重点的取組 | 取組指標 (誰が・何を・どのくらいの頻度で) | 学習指導要領 が目指す 資質・能力 との関連 | | |
|-------------------------------------|---------------------------|---|----|-----------------------|--|---------------------------------|----------|----------|
| | | | | | | 知識・技能 | 思考・表現・判断 | 学び・人に向かう |
| 進んで学び、 思いや考えを 伝えられる子 どもの育成 | 研究主任・生活指導主任 (吉野・佐保・大塚) | ○学力調査(全国・県)および単元末テストにおいて目標値を達成する。 ○児童アンケート 「国語・算数の授業はわかりやすい」・・・3.5以上 | 学校 | 基礎基本の定着をはかる学習指導 | ○授業者は、毎時間めあてや課題を明確にした授業を行い、単元全体を通して目標が達成できるようにする。 | ○ | | |
| | | | | 主体的な学びを促す学習指導 | ○授業者は、思考の過程を書かせたり、考えるための手立てを与えたりしながら問題に取り組ませる。 | | ○ | |
| | | | | 読解力をつけるための国語科授業づくり | ○学期に1回、文章から要点やキーワードを探し、自分の考えをまとめる検証授業をし、相互に見合う。 ○視写に取り組ませる(4年～6年/週1回) ○音読練習を宿題とする(全学年/毎日) | ○ | ○ | |
| | | | 家庭 | 連絡帳や学習の点検 | ○保護者は、毎日の家庭学習や連絡帳の確認および声掛けをおこなう。 ○音読を聞いてサインをする。 | | | ○ |
| | | | 地域 | 主体的な学びを促す支援 | ○読書ボランティアとして読み聞かせに参加する | | | ○ |
| 豊かな心をもち、 自分や仲間を大切にする 子どもの育成 | | ○児童アンケート 「自分や友だちのよさがわかった」・・・3.7以上 「自分や友だちのよさがわかり、仲良くなれた」・・・3.5以上 | 学校 | 認め合い、支え合う集団づくり | ○授業者は生徒指導の3機能を意識した授業に毎時間取り組み、「認め合い、支え合う」を視点とした振り返りを行い、子どもたちに返していく。 ○人間関係づくりプログラムを月2回実施する。学級でも教科学習や特活の時間を活用して集団づくりを行う。 | | ○ | ○ |
| | | | | | | | | ○ |
| | | | 家庭 | 家庭読書の取組 | ○保護者は「家庭読書の日」の取組を月に1回はおこなう。 | | ○ | |
| | | | 地域 | ゲストティーチャーとしての協力 | ○竹田郷土学にゲストティーチャーとして関わり、児童と交流を行う。 | ○ | ○ | ○ |
| 自ら主体的に行動する 子どもの育成 | 体育主任(甲斐・山口・後藤) | ○児童アンケート ・「自主的にめあてに向かって取り組んだ」・・・3.5以上 ○教職員アンケート ・「主体的に取り組む指導・支援を行った」・・・3.5以上 | 学校 | 目標に向かい主体的に取り組む姿を育む指導 | ○行事や集会の際に「目標を設定し、「自己調整をしながら高みを目指すための振り返り」を行う。 | ○ | | ○ |
| | | | | 自分の生活リズムを振り返る集会や授業づくり | ○自分の生活リズムをつかみ、振り返ることができる健康観察(体育的行事期間中に合わせて実施)を行う。 | | ○ | ○ |
| | | | | | | | | |
| | | | 家庭 | 自主性を育む家庭での取組 | ○保護者は子どもがすすんであいさつができるように親子ではなしをしたり、地域行事への参加を促したりする。 | | | ○ |
| | | | 地域 | 安全を推進する取組 | 地域の方は交通安全指導などにおいて児童に声かけあいさつなどを行う。 | | | ○ |